婦人と新社會

山田わか主筆

五月號

夫を左右する婦人

貧民階級と遊墮
階級と新興階級

國民として忘れて
ゐてはならない問題

公德運動に附て

縱斷的社會事業

先代の遺產

—編輯の後—

昭和五年四月二十三日印刷納本

昭和五年五月一日發行　第百貳拾二號　毎月一回一日發行

東京 婦人と新社會社發行

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

夫を左右する婦人

有徳なる婦人は良人の命に維れ従ひて却つて良人を左右すとサイラスは云ひましたが男と云ふものは大概は鼻ッぱりが強くて、一度云ひ出したことはなか〳〵後へ引かない。故に賢い心の寛い妻はとにもかくにも夫の云ひ分を立てゝ、其れに従つて置きますが、併し、ものには皆それ〴〵の正しき道があつてよこしまには進み得ないことを充分承知してゐます。

が「時間」と云ふ「神」は有りがたいもので、時が経てば、良人の強い鼻ッぱりも折れて、やはり正しい道を見るようになる。かくして妻は無言のうちに良人を左右することになるのです。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

貧乏階級と遊墮階級と新興階級

過去に於ける世界の如何なる國に於ても今日の北米合衆國に現存してゐるやうな家庭生活の高い標準は存在してゐなかつたと云はれて居ります。米國民のそれ程高い生活標準は何に據るかと云ふと、勿論、天然の富源が豊富であると云ふことに加ふるに二十世紀の科學を應用してゐるからです。世界第一の富源を享有してゐる、そして、その大なる富を平等に分配しようとする方法は益々進歩してゐるにも拘らず、國民生部の病的狀態を代表する貧乏人は減じるよりもむしろ、増加しつゝあると云はれて居ります。

病的な、つまり、不健全な家庭生活が如何なるかたちに於て現れてゐやうとも、その根本は何處までも經濟問題です。云ひ直せば、滿足的な家庭生活を營むに充分なる收入を與へると云ふことが第一條件です。

けれども、此處に考へなければならないことは、慢性的な貧乏から苦しんでゐる家族を其の困難から脫せしむるに當つて、其の家族の稼人に家族を支へるに充分なる收入を與へただけでは充分で

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

はない。その收入を浪費しないやうに、要するに、賢く使用するやうに注意することが、又、絕對に必要です。

どんなに收入を充分にしても、それを賢く消費しないならば、人は永久に貧乏から脫することは出來ないでせう。

家が貧乏であるために、家族が苦しい生活を送つてゐるために、云ひ直せば、非常に不幸であるために、家族員のうちに勇敢な同情的犧牲的精神を起す者が現れると云ふ場合ひもあります。

併し、その苦しい生活、非常な不幸が長く續くならば、惡い結果が其の家庭生活のうちに現れて來るのは當然です。

貧乏が家庭生活を凋萎させると云ふことは明らかです。

○

併しながら、家庭生活を威嚇し、凋萎させる貧乏の範圍を見定めることはなか〳〵困難です。即ち、如何なる程度の貧乏が其の範圍に屬するか、其の定義が難しいのです。

或る學者は甚だ注意深く、最少限度の生活標準を說明してゐますが、その說明によると、『生理上、

道徳上の健康を維持し、最大限度の能率を出すに充分なる生活資料を得、且つ子供の生理的知力的の成長のために必要な一切を得ること』と云ふのであつて、それだけを得られない者が要するに貧乏人であり、不健康な従つて不幸な病的な國民であると云ふことになります。

併し、米國ばかりでなく、我が國にあても、それだけの生活標準を維持出來ない家族はあまりに澤山ありすぎます。此の標準をもつてするならば、我が國民の過半數は貧乏人であると云はなければなりません。

惡い家庭と貧乏はどちらが原因でどちらが結果であるか分らない程密着な關係がありますが、とにかく、貧乏と惡い家庭生活とが心身の虚弱、無知、精神病的國民を造ることは確かです。

○

貧乏は多方面から見て研究しなければならないものでありますが、今、此處では家屋に關して聊か考へて見たいと思ひます。

家屋は家庭ではありません。併し、家屋の狀態が家庭生活に根本的の影響を與へることは誰でも認めてゐる事實です。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

社會事業に干與した人は誰でも承知してゐるように、不潔な貧民窟に立派な家庭を期待することは不可能です。さう云ふ場所に次の國民の父とし母として生理的に精神的に健固な人物を見出すことは殆んど奇蹟であるでせう。

比較的優良な人間であつても不健全な狀態に取り卷かれて生活してゐるならば、それ等の惡影響が彼の家庭生活に浸潤して行くと云ふことは明らかな事實です。故に、國民の生理的心理的の進步向上を期すために健全な家庭を建設しようとするならば其の第一に必要とするものは相當な住所、即ち、衞生的な家屋であります。

家が立派であるからと云つて、又は、衞生的であるからと云つて、それで、滿足的な家庭が出來ると云ふわけではありません。けれども、惡い家屋が家庭生活の成功を困難ならしむると云ふことは確かです。

都會の貧民窟のなさけない狀態、臭氣、小さい子供がうよ〳〵してゐる處、又は、農村及び漁村に於ける崩潰しかゝつてゐる農家や、其の外觀が示すよりは一層惡い、都會の貧民窟と大差ない不衞生な狀態を見るならば、心ある人は寒心に耐へないでせう。

○

家屋の狀態は二方面から考へなければなりません。そしてその積極的の方面は、先づ、國民として健全な男女に衞生的な住み心地のよい家屋を提供しようとする企てゞあり、その消極的の方面は、打ち捨てゝ置けば社會の脅威となり、國家の負擔とならざるを得ないやうな狀態にある者を救濟する手段を發見することです。

こう云ふ方面から考へて見ると、貧民の住宅問題は容易ならざる社會問題です。單なる一個人の趣味の問題ではありません。

家屋は、實に、人の健康、道德、威嚴、快樂などと密接な關係があります。人生の價値と道德の核心である家庭は家屋のうちに造られます。

子供や靑年のためには家庭が最も愉快な場處でなければならず、中年の働き盛りの者のためには最も安心の出來る休息所、老年のためには最も平和な安住所でなければならない筈です。

けれども、もし、それが雨の漏るあばら家であつたり、何等の情味も無かつたりするならば、つまり、入るにも氣持ちが惡いような狀態であるならば、人はつい屋外に娛樂を求めるやうになる。

殊に、少年期青年期に於てさうです。彼等の若い血は陰氣な又は不潔な屋內には凝として居られないのです。

自重、威嚴、慰安と云ふようなものは虛飾、贅澤によつては決して得られるものではなく、我が家の居心地のよいことによつて養はれるものであることを忘れてはならないと思ひます。

多くの貧民窟に於ては眞夏の暑い時分には、子供等が夜更けるまで戶外をブラ〳〵遊んで步いてゐます。かう云ふ處の家は風通しが惡いし、日光も入らないから病菌はどん〳〵養成されるばかりで、空氣自身が既でに病毒です。一室のうちで、煮焚もすれば洗濯もする。湯あみもすれば寢もすると云ふのでは實際たまりません。

死亡率はさう云ふ處が最も高いと云ふのは自然です。一室に住んでゐる家族の死亡率は一般人口の死亡率の八倍、二室に住んでゐる家族の死亡率は四倍、三室に住んでゐる家族の死亡率は二倍と云ふ割りになつてゐると云ふことです。そして、かう云ふ恐ろしく高い死亡率は家が惡いばかりでなく、周圍の不潔にもよると云ふことは勿論です。

樹木のかげも無ければ、下水の裝置もない都會の貧民窟と比較すれば、農村の貧乏人の方が遙か

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

によいように一寸は考へられますが、併し、事實は都會の貧民窟の家よりももつと甚しいのがあります。

農村のさう云ふ家に成人した青年男女は自然の美を樂しむと云ふような趣味を大抵は持つてゐないし、又、都會の暗黑面を見ることも出來ず、唯々、都會の表面的の美にあこがれて無闇に農村から脫出することを考へます。

○

家屋の狀態が家庭の狀態を決定するやうに前に申ました。實に、あまりに不衞生的な貧民の住宅は黴菌を製造し、傳播するものでありますから、これを等閑にして置くことは社會政策上由々しき大事であります。黴菌學や衞生學の知識の普及も目下の急務であるに相違ありません。

一口に貧民窟と云ふと、そこは生活費が非常に安いやうに思へますが、事實は決してさうでないと云はれて居ります。彼等の消費する金は大きいもので、もし、組織を變へたならば相當な家に住む事が出來る程の金高であると云ふのです。その證據には家主の方から云ふと、丁度、貧乏人相手の質屋が大きな利益を得るやうに、最下級な長屋が最も有利だと云ふことです。故に、無制限な競

手にこれを任せて置くならば下級勞働者は到底人間が住むには堪へられないような家にばかり住んでゐなければならないでせう。

　これを救濟する方法を或る學者は二つ擧げてゐます。

　その第一は、資本家が同胞主義の精神から四分か五分の金利で滿足するやうにさせるのです。社會改良の實驗はどうしても個人から始めねばならぬのであるから、先づ、資本家が暴利をむさぼる家主を向ふへ廻して貧民のために相當な家屋を提供するのです。貧民だからと云つて、それ相當な家賃を拂つてゐるのですから、大きく儲けるつもりでさへ無ければ相當な家を與へても安い金利にはなる筈です。そして、その有効さが證明された曉には國家か、又は、市が其の仕事を引き受けて大規模に始むべきです。これが歐洲諸國に於ける社會學を應用した社會改良運動です。

　それから、その第二は、政府の干渉を要求することです。即ち、常識に富んだ專門技師をして貧民窟を調べさせ、衛生上許すべからざる家屋は家主に修繕を命令するなり又は取りこわさせるなりするのです。又、家を新築する場合ひに一定の家屋建築法に從はせることは家屋の混雜を防ぐために良いことで、あの大震火災後の建築法が非常に嚴重になつたことは大いに喜ぶべきことです。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

もう一つの住宅問題解決の方法は、政府と個人が共同して長屋を建築することです。即ち、政府の補助の下に長屋を建てゝ、そして家賃は一定の價格を越へてはならぬと云ふ規定を置くのです。歐米各國に於ては建築會社が町外れの地面を買つては其處に理想的な家屋を建築して、そして、會社の株主や社員に家を提供すると云ふ仕組みになつてゐると云ふことです。そして、これも家屋改良の有望な仕方であるに相違ありません。

○

未來に對する準備は剩餘のある處から進めて行かなければなりません。貧乏人を幸福の位置に向上させるためには、第一家屋、衛生機關、教育機關及び其の他の諸機關を造るために政府と社會が共力すべきです。そして、その努力の報酬として得る處のものは勞働者の高等な能率となり、發明となり、産業の進歩に大なる貢獻があるやうになります。

から云ふ氣運が一度現れゝば、其の利益は模倣によつて烈しい勢ひで擴つて行き、そして、遂ひには經濟的社會的剩餘が出來、其の剩餘の保護の下に勞働者は確實な經濟を基礎に結婚が出來るやうになり、健全な子孫を殘す望みは出來て來ます。

都會の貧乏は動的でありますから、その貧乏人はいよ〳〵貧乏となり貧窮と罪惡の淵に陷るか、或ひは、又、經濟上獨立の位置に迄向上するかでありますが、田舍の貧乏は靜的で先代からの貧乏を其のまゝ子供が受け繼いで行きます。同時に、田舍では少數の財產家が過度の富の消費及び其れに伴ふ惡德によつて世襲財產を失ひつゝあります。概して世襲財產家は自分等の後繼者として有爲な人物を殘そうとはしないで唯、古くさい口碑だけを傳へてそれで足れりとしてゐるからです。

○

貧窮と罪惡の淵に陷りつゝある貧民階級と、それから、世襲財產を喰ひ滅しつゝある遊隨階級と、卽ち、倒れつゝある此等の二階級の間に、今、新らしい一階級が現はれようとして居ります。そして、それは都市に働いてゐる勞働階級であります。

現代の產業が都會を造りました。故に、都會は必然產業團體の住居地であります。そして、彼等の社會上の位置は、それ〳〵產業的の原因より來る社會變化によつて保護されてゐます。たとへば、勞働立法とか、或ひは、產業敎育のやうなものによつて。

この新階級は一種の文明のうちに自己を維持する用意をしてゐます。そして、この文明は必ず都

會を中心とした、勞力によるものでありますから、益々多くの能力ある男女を都會に吸收し、かくの如くにして勞働狀態は益々改良され、以前財產家階級のみが享有してゐた敎養を彼等が受けるやうになるでせう。そして、健全な子孫を殘す役目も彼等の負ふ處となるでせう。

その結果、能率をあげる勞働と進步とが相待つて彼等の家庭は輝きます。働く力と喜ぶ力は健全な體軀と進步的社會遺傳との一致を通じて各家庭に現れます。

かくして、社會剩餘は世襲財產となり、次の時代のためにこれを利用し、引いては未來の人類を改良し、世界を美化する資本となるのですが、此處を目標として、即ち、現在の貧乏人を乃至遊惰な財產家を一人でも多く此の新興階級に編入しようとするのが時代に目覺めた人々の努力しなければならない點であります。

舜一郎樣の霊へ

草間判二

霜に散る落葉もあるにあたゝかき
春風に散る花よ安かれ

國民として忘れてゐてはならない問題

私共部會に住んでゐる者は平生は殆んど忘れてゐるような狀態でありますが、併し、日本國民として決して忘れてゐてはならない問題に融和問題があります。

明治大帝の五箇條の御誓文のうちに「舊來の陋習を破り天地の公道に基くべし」と仰せられ、この御誓文が宣布され、差別は全然取り除かれた筈であるにも拘らず、それから六十年經過した今日尙少數の同胞に對する差別的の偏見があると云ふことは何たるなさけないことであるでせう。

所謂特殊部落の人々の先祖の先祖は私共一般日本國民の先祖と同一の人々でありました。ですから、私共一般國民も所謂特種部落の人々も皆同一の日本民族であるのです。

唯、階級意識の盛んな時代に、其の當時不遇な境遇にあつた人達が、その頃人が卑しいと考へてゐた職業に從事してゐたと云ふ理由で其の子々孫々までを卑しいとすることは何と云つても不合理千萬です。

昔の或る時代に男の腕力が非常に必要であつた場合ひに、その男の腕力をあまりに崇拜する餘まり、此の人生に於て尊いものは女でなく男であると云ふような考へを人々は持つてしまつたのと同じ過程です。

男のみが一人前の人間であり、女は其の男に屬するもの、いはゞ男の所有品であるかのような取り扱ひを受けるようになつてしまつたのみならず、女は汚たないもの、けがれたものと云ふようにさへ考へられるようになりました。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

女は靈山などへ登ることを許されませんでした。月のさわりのある時など、神社の鳥居をくゞることさへも差しとめられて居りました。

けれども、女を汚ない者と考へるなら、その女から生れる男は猶一層汚なからうと云ふ考へ方が優勢になつて、此の頃では其の誤まりであると云ふことに人々は氣付いてまいりまして靈山登りを婦人はするようになりました。

であるのに、ひとり所謂特殊部落の人々のみが一般國民と別のものであるような待遇を受けるのは何としても不當なことであります。

○

勿論、理性の上では、それは不當である、いはれないことであると百人が百人、千人が千人、皆承知してゐるのですが、併し、感情が其の理性に一致しないことは本誌三月號にも一寸書いて置きました。

一體理性は感情の道案内として人間が持つてゐるものであります。ですから凡ての人々の感情が其の理性の導くまゝに動いて行くならば世の中に何んにもめんどうなことは無い筈です。

人間を動かす最大なる力は感情でありますがその最大力なる感情が感ずる通りの行爲をして行くならば、其處に衝突は免れられません。

が、唯、感情が理知の命令に從ふことによつてのみ人は調和することが出來るのです。

一體、感情の力を分類して見ますと其れは二ツになります。即ち、建設的な感情と破壞的な感情と。そして、感情が理知の命令に從つた時には建設的で、理知の命令に從はない時に破壞的になります。

これを機械的に見ますならば、建設的の感情と云ふのは共同の力で、破壞的の感情と云ふのは孤立した力です。そこで、感情を有益な力に

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

しようとすれば、第一、理知の命令に從ふ必要があると同時に、第二には他人の感情に調和する必要があるのです。

故に、融和すると云ふことは、片方だけでは出來ない問題です。必ず、片方がもう片方の感情に同化して行かなければなりません。

先きの米國大統領ハーデング氏は一九二一年一〇月二六日アラバマ州バーミング公會堂に於て白人並びに黑人の大聽衆に向つて黑人問題に關する大統領としての自分の意見を發表しました。そして、黑人の政治的及び經濟的の白人との平等を主張しました。と、同時に、社會上の平等は抗みました。

彼は申ました。白人黑人を問はず、各人の資格と其の價値に比例して平等な待遇を受くべきこと、そして、それが經濟上の平等であり、それから、有色無色に拘らず、投票に適當である時に投票するのが政治上の平等である。が、社會上の平等は不可能である。なぜなら、白人と黑人の社會的の位置は、むしろ、根本的に避けがたき差を基礎としてゐるから、と。

ハーデング氏の此の聲明に對しては黑人側からも白人側からも賛否の議論が百出しましたが要するに、人間關係は勿論道理に立脚してゐるとは云へその實感情の問題だからであります。

そして、これは我が國の融和問題とよく似てゐる問題であります。

ですから、私共が此の問題の徹底的解決に到達するには、それは感情の新らしい人間を造つて行くより外に方法はありません。家庭に於て學校に於て、其の外凡ての敎育機關、或ひは、社交機關を通して、融和の種を植へ付けて行くことが、此の問題解決に對する最も有効な方法であると私は信じます。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

公德運動に附て

東京市民は先月二十六日「帝都復興祭」に歡喜の聲を擧げました。勿論、喜ぶべき理由は重々ありますが、併し、まだ〳〵お祭り氣分に浸つて居られる時でないことを私達は承知してゐなければと思ふ。なぜなら、借金をして家を建てた。が、その消却の方法は？と云ふ問題が目前に横つてゐます。

それはさて置き、東京聯合婦人會が此の復興祭を記念して、婦人淸掃隊を街頭に進出せしめ「市民公德運動」を行つたと云ふことは前號の「編輯の後」に一寸書いて置きました。

東京聯合婦人會が其の準備を着々進めつゝある時に東京朝日新聞社でも同じ計畫が進められてあつたゝめに聯合婦人會は此處に合流して活躍することになりましたが、とにかく、此の仕事をするために聯合婦人會幹部が集合した數が五回、朝日新聞社へ打ち合せのために參集したのが二回、市の社會局や事務局の了解を得るために委員達が歩いたのが一日でありました。

街頭を淸掃するに付ての方法を相談したり、工夫をしたりしてゐる最中「馬鹿々々しい仕事だ。無數の市民が無意識に汚しほうだい汚して行く其の跡を掃除するために、こんなに大勢の人が貴重の時間をつぶすなんて」と云ふ氣持ちが腹の底に幾分動いてゐるのを私は見逃すことは出來なかつた。

けれども、私はすぐ思ひかへすことが出來た。これを馬鹿々々しいと思つたのでは、世の中のことの殆んど凡てが馬鹿々々しくなる。第一、警察の仕事がさうだ。國民に自治の精神が行きわたつて居れば警察の仕事は殆んど無くなる。從つて、警察と云ふものゝ存在の必要が無くなる。消防の仕事もさうだ。不可抗力の天災を除けば、要するに國民のだらしなさが其の原因である。殊に、社會事業の仕事がさうだ。窮境にある人々のために働かうとする人々の數並びに精力には限

りがある。けれども、それ等の人々に頼らうとする人の數は無限である。

たとへば、最近市內の婦人職業紹介所や寄泊所を渡り步く婦人が激增し、しかも、彼女等は求職と云ふのは表面の口實で、たゞ、係員の同情を求めブラ／＼遊んで暮そうとする浪浮者が多いとのことです。何年も市內に住んでゐながら田舍から出て來たばかりのように裝つたり、仕事を見附けるために一日步き廻つてゐたような風をして、其の實、公園のベンチや映畫館で遊んでゐたりするそうです。

併し、それが社會事業家の仕事であり、選まれた人々の使命であらねばならない。して見たならば、お互ひに缺陷だらけな、しかも、小さい力しか持たない自分達が他の人々の缺陷のために働き得ると云ふことはむしろ光榮に思ふべきだと私は考へ直しました。で、私は喜び勇んで清掃の仕事に參加して行くことが出來ました。

大勢の若き人々の非常なお骨折りであつたに相違ありませんが、とにかくこれが最初望んでゐた通り、一大センセーションを喚起し、あちらこちらの家庭でも街頭作法が話題となり、此處其處の若人達の間にもこれが問題になつたと云ふことは感謝の外ありません。

縱斷的社會事業

産業の社會化――個人所有から社會所有に移すこと――と云ふことは、社會主義的施政を行つてゐる國のいつも大きな問題です。それは簡單なことのようで、其の實非常にめんどうな問題です。

社會化の實際の仕事は、獨逸に於ては一九一八年十一月九日以來實行してゐますが、いろ／＼な困難に遭遇した後、やうやく發見された實行可能な方法は、橫斷的ではなく縱斷的であります。つまり、一ツの産業を徹底的に社會化して、それから、それに關聯したものを社會化して行くと云ふ方法です。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

たとへば、鐵工業を社會化しようとする時には、先づ、鐵の山を社會化する。その次には鐵をとかすに必要な燃料を社會化する。そして、その次には其の運搬に必要な鐵道を社會化し、その外、凡ての鐵に關する仕事を社會化する。かくして、鐵工業の社會化が實現すると云ふように。

　社會事業も亦、これと同じ理窟です。手をつけなければならない方面は澤山あります。けれども、其の全部に一時に手をつけることは不可能です。そこには經費の問題がすぐ起つて來ますから。もし、又、經費があつて、そして實行されてゐても、割り合に効果が擧がらないのは、其の仕事が横斷的であるばかりでなく、否横斷的と云ふよりも、むしろ斷片的であるからです。

　たとへば、乳幼兒を保護しようとすれば、母性の保護を考へなければならない。母性の保護を考へる時には、父の給料と云ふ問題が出て來ます。同時に、各家庭で使用される日用品の供給の問題、衛生の問題、教育の問題と云ふように。

　社會事業と云ふことに付ては、今は多方面で大いに考へられて居りますがこれが横斷的、否、斷片的に實行されて、經費と精力を無駄にしないように縱斷的に進められて行くように私は希望致します。

先代の遺産

　生れたまゝの子供は絶對に無政府主義者です。彼は何等の義務を感じません。彼に義務を感ぜしむる法律も因襲もありません。

　けれども、家庭に於て、兩親が彼のきげんをとつたり、いましめたり、折檻したりして、此の極端な個人主義者を兩親や兄弟姉妹と協同せしむるようにする。即ち、彼を社會的にして行きます。

　かうした結果、彼は、自分の持つてゐる物、惜しいと思ふ物をも、兄弟姉妹又は友に分け與へるような氣分になります。極端な個人主義者が、かくして家庭に

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

於て、いつのまにか社會的の人間にされて行くのです。

　神は人間に、病氣と共に藥を與へました。五官と共に想像力を與へました。極端に我がまゝである子供の性質に、それを社會的に應用する本能の力をも與へました。

　そして、その力の發達は、家庭に於てのみ可能です。我々が先代から受けついだ遺産の眞髓なる言ひ傳へや道德や、其の外、風俗習慣藝術など、それ等の遺産を貯藏する處、又、それを次代に傳へる處は家庭なのです。そしてそれ等の遺産を貯藏し、次代に傳へて行く家庭こそ、社會組織の心理的セメントです。此セメントの量が多ければ多い程、それだけ社會の構造は堅固であります。風や地震では倒れません。

編輯の後

　初めて議會人となつた犬養健氏、議會の喧噪と其の野卑さ加減に呆れ殊に、嚴父の演說中「老ぼれ」と云ふ野次が飛んだのにカン／＼に立腹されたのも道理、それにつけても思ひ出さるゝのは私の講演に對する故弁一郎の護衛ぶりです。

　或る講演會場からの歸へりがけ、弁一郎はかくし持つてゐた大きな石を投げ捨てながら「母さん、今夜は野次が三人ばかり這入つて來たよ。わざ／＼野次りに來るんだね。何と云つて野次らうかと相談してゐたから、……傍にゐる僕が母さんについて來てゐることを知らないもんだから、……僕、急いで外へ出て此の石を拾つて來たんだ。母さんの講演を野次つたりなんかして見ろ、その口のい、はたを叩きつぶしてやるぞと思つて睨みつけてゐたんだ。そのうちにコソ／＼出て行つてしまつたけれど、れー、母さん、隨分失敬な奴がゐるもんだね。」

　私は弁一郎の一本氣に笑ひ出しながら「そんなやせつぽちのくせに腕力に訴へるなんてお止しよ」と云ひましたが、とにかく、彼は私の一言一句一擧一動要するに私のする全部を肯定してゐて呉れる子でした。

本誌定價表（臨時）

一冊	金十錢	送料五厘
六冊	前金五十五錢	（送料共）
十二冊	前金壹圓	（送料共）

昭和五年四月廿三日印刷納本
昭和五年五月一日發行

東京市四谷區南伊賀町四一
編輯兼發行人　山田嘉吉
東京市牛込區若松町五四
印刷人　大杉直次郎
東京市四谷區南伊賀町四一
發行所　婦人と新社會社